

記入例

罹災証明交付申請書

(宛先) 須恵町長

※太線枠内を記入してください。

令和 4年 4月 10日

申請者 (窓口に来られた方)	住所 福岡県糟屋郡須恵町大字須恵771
	ふりがな すえ たろう 氏名 須恵 太郎 電話092(932)1151
	罹災者との関係 <input checked="" type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 同居の親族 <input type="checkbox"/> その他 *その他の場合は委任状が必要
証明書の使用目的	<input type="checkbox"/> 被災者支援制度の手続 () に提出 <input type="checkbox"/> 税免除 <input checked="" type="checkbox"/> 保険請求 <input type="checkbox"/> その他 ()
証明必要数	(1) 通

罹災証明書の交付について、次のとおり申請します。

罹災者(世帯主) (申請者と同じ場合は記載不要)	住所 福岡県糟屋郡須恵町大字 ふりがな 氏名 電話 ()																								
罹災世帯の構成員 (被災者支援制度の手続のため必要な場合のみ記入)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>氏名</th> <th>続柄</th> <th>年齢</th> <th>氏名</th> <th>続柄</th> <th>年齢</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>世帯主</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	氏名	続柄	年齢	氏名	続柄	年齢		世帯主																
氏名	続柄	年齢	氏名	続柄	年齢																				
	世帯主																								
罹災した住家の所在地	*申請者の住所と同じ場合は記載不要 福岡県糟屋郡須恵町大字 <input checked="" type="checkbox"/> 持家 <input type="checkbox"/> 借家(所有者名)																								
罹災日時	令和4年 4月 1日 (金) 午前 午後 10時頃																								
罹災原因	<input type="checkbox"/> 台風 <input type="checkbox"/> 暴風 <input checked="" type="checkbox"/> 豪雨 <input type="checkbox"/> 地震 <input type="checkbox"/> その他 ()																								
罹災状況 (具体的に何がどうなったかを記入)	住家 豪雨により床下浸水した。 住家以外 車が水没 車のナンバー(福岡〇〇 す〇〇-〇〇)																								
添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 被害状況の写真 <input checked="" type="checkbox"/> 見積書 <input type="checkbox"/> その他 ()																								

調査結果 (住家の被害の程度)	<input type="checkbox"/> 全壊 <input type="checkbox"/> 大規模半壊 <input type="checkbox"/> 中規模半壊 <input type="checkbox"/> 半壊 <input type="checkbox"/> 準半壊 <input type="checkbox"/> 準半壊に至らない(一部損壊) <input type="checkbox"/> 床上浸水 <input type="checkbox"/> 床下浸水 <input type="checkbox"/> その他 ()
--------------------	---

- 住家とは、現実に居住(世帯が生活の本拠として日常的に使用していることをいう。)のために使用している建物のこと。(被災者生活再建支援金や災害救助法による住宅の応急修理等の対象となる住家)
- 罹災証明書において認定する「被害の程度」(「全壊」~「準半壊に至らない(一部損壊)」の6段階)は、内閣府の定める被害認定基準に基づき、屋根、壁、基礎等の部位別にその表面に現れた被害を調査して認定するものです。